

対応無線機：ID-5200/ID-5200D

本書は、DVゲートウェイ機能について説明しています。

DVゲートウェイ機能を使用すると、D-STARレピータに電波が届かない場合でも、インターネット回線を経由したゲートウェイ通信ができます。

DVゲートウェイ機能には、ターミナルモードとアクセスポイントモードがあります。

※ DVゲートウェイ機能を使用した無線機同士でもゲートウェイ通信ができます。

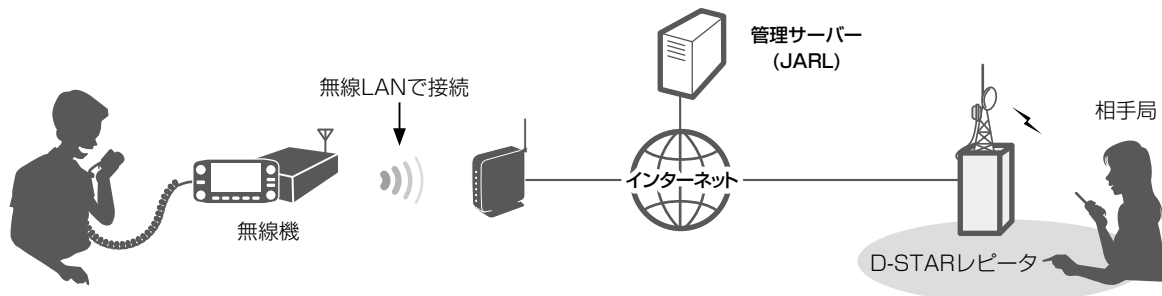
※ DVゲートウェイ機能で運用中は、D-STARレピータをワッチできません。

※ ID-5200のターミナルモードでは、通常モードとのデュアルワッチができます。

ターミナルモードとは

アンテナを介した電波の送受信の代わりに、インターネット回線を経由したゲートウェイ通信ができるモードです。

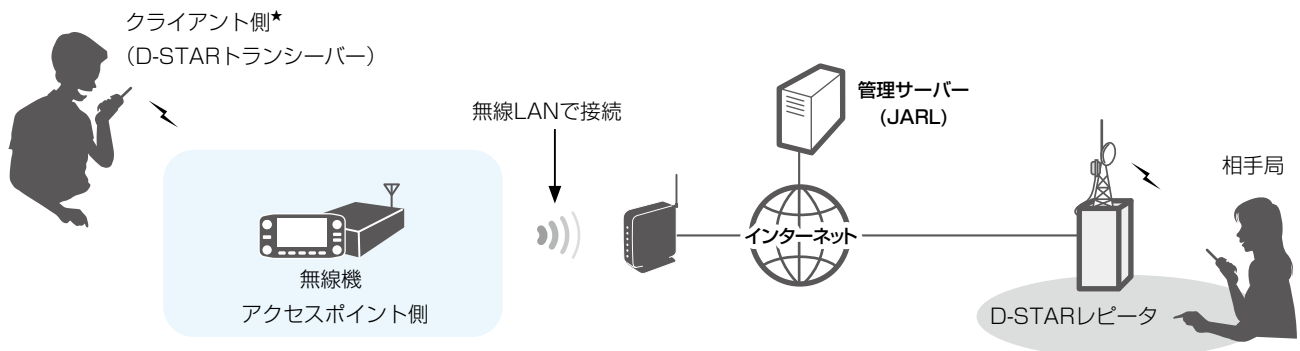
例：内蔵ゲートウェイ使用時



アクセスポイントモードとは

無線機を経由して、D-STARトランシーバからゲートウェイ通信ができるモードです。

例：内蔵ゲートウェイ使用時



★ アクセスポイント側の無線機と通信できるクライアント側の無線機は1局だけで、同時に複数局の通信はできません。

運用するときの注意

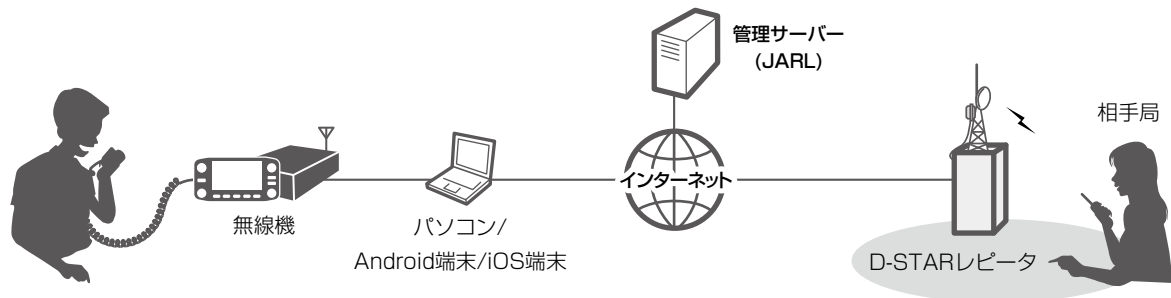
- ◎ アクセスポイントモードをご使用になるときは、アクセスポイント側無線機とクライアント側無線機それぞれに異なる局免許が必要です。詳しくは、JARL「アマチュア無線と公衆網との接続のための指針」をご確認ください。(P.6)
- ◎ UDPホールパンチをOFFにしてDVゲートウェイ機能を使用するには、IPv4のグローバルIPアドレス(固定、または動的)をご利用ください。

外部ゲートウェイを使用するときは

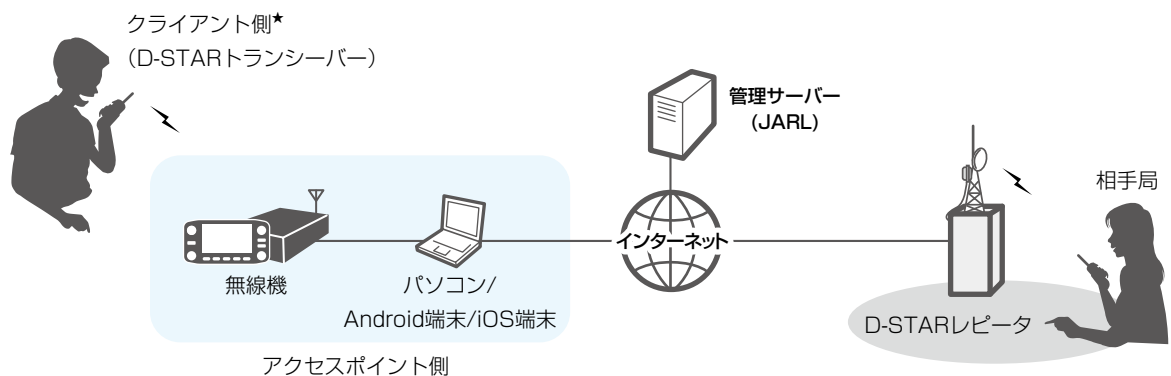
無線機を直接インターネットに接続できない場合や、携帯電話回線でゲートウェイ通信をする場合、Windowsパソコン、Android端末、またはiOS端末を経由してDVゲートウェイ機能を使用できます。

※ 無線機と接続するUSBケーブル、またはBluetoothの組み合わせについては、3ページをご覧ください。

ターミナルモード



アクセスポイントモード



★ アクセスポイント側の無線機と通信できるクライアント側の無線機は1局だけで、同時に複数局の通信はできません。

外部ゲートウェイに設定する

※ ID-5200の画面を例に説明します。

1. ゲートウェイ選択画面を表示させる
MENU > DV GW > **ゲートウェイ選択**
2. 接続方法に合わせて「外部ゲートウェイ (USB (B))」、または「外部ゲートウェイ (Bluetooth)」をタッチする



外部ゲートウェイ (USB (B)) :
無線機とパソコンやAndroid端末をUSBケーブルで接続する

外部ゲートウェイ (Bluetooth) :
無線機とAndroid端末/iOS端末をBluetoothでペアリングする

対応無線機について

本書では、下記の無線機を使用する場合について説明します。

対応無線機/ ソフトウェア	ID-5200/ID-5200D
内蔵ゲートウェイ	
無線 LAN 接続	○
有線 LAN 接続	—
ゲートウェイ（外部）	
無線機側の コネクタ情報	Type-C
(1) RS-MS3W（パソコンを使用する場合）	
USB 接続に使用 するケーブル	別売品 OPC-2480、 または市販品
(2) RS-MS3A（Android 端末を使用する場合）	
USB 接続	○
USB 接続に使用 するケーブル	市販品★
Bluetooth 接続	○ (バージョン 1.40 以降)
(3) RS-MS3I（iOS 端末を使用する場合）	
Bluetooth 接続	○

★ OPC-2418 は使用できません。

ご注意

USBケーブルを使用してパソコンに接続するときは、USBドライバーのインストールが必要です。

下記URLから弊社ホームページにアクセスしていただき、必要なUSBドライバーとインストールガイドをダウンロードしてください。

◎ USBケーブルをご使用の場合は、無線機の製品名で検索してください。

アイコム株式会社 サポート情報(個人のお客様)

<https://www.icom.co.jp/support/personal/>

対応ソフトウェア/アプリについて(2026年6月現在)

対応ソフトウェア / アプリ	動作環境
RS-MS3W (パソコンを使用する場合)	◎ 対応 OS Windows 11 (64 ビット) ※ ARM 版 Windows は除く ◎ USB ポート USB1.1/USB2.0 装備
RS-MS3A (Android 端末を使用する場合)	◎ 対応 OS Android8.0 以降 ※ 動作確認済み OS : Android 8.x/9/10/11/12/13/14/15/16 ◎ USB ホスト機能 (USB ケーブルで無線機と接続する場合) ※ USB ホスト機能とは、端末に USB デバイスを接続して使用するための機能です。 Android 端末が USB ホスト機能に対応しているかどうかは、ご使用になる Android 端末のメーカーにご確認ください。 ◎ Bluetooth 機能 (Bluetooth で無線機と接続する場合)
RS-MS3I (iOS 端末を使用する場合)	◎ 対応 OS iOS 15 以降、iPadOS 15 以降 ※ 動作確認済み OS : iOS 15/16/17/18/26、iPadOS 15/16/17/18/26 ◎ Bluetooth 機能

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、使用する端末と多少異なる場合があります。

※ ご使用になるソフトウェア/アプリの操作説明書を併せてご覧ください。

各操作説明書は弊社ホームページからダウンロードできます。

海外のレピータを経由して交信するときのご注意

(2026年6月現在)

海外レピータ経由で交信しようとして相手局から応答がないときは、日本国内のD-STAR管理サーバーと海外のサーバーとのあいだで、ゲートウェイコールサインとグローバルIPアドレスの情報同期に時間がかかっている場合があります。

日本国内のD-STAR管理サーバーに関するご質問は、管理運営しているJARLにお問い合わせください。(TEL:03-3988-8749)

1 ご使用になる前に

■ 免許申請について	6
■ ゲートウェイコールサインについて	6
◇ ターミナルモードをご使用になる場合	6
◇ アクセスポイントモードをご使用になる場合	7
■ ネットワーク環境を準備する	8
◇ UDPホールパンチについて	9
◇ ルーター経由でインターネット回線に接続する場合	10
◇ パソコンやAndroid端末/iOS端末を携帯電話回線に接続する場合	12
◇ モバイルルーター経由でインターネット回線に接続する場合	13

2 接続と設定

■ 内蔵ゲートウェイを使用する場合	14
■ RS-MS3Wを使用する場合	16
◇ インストールのしかた	16
◇ USBケーブルの接続	16
◇ COMポートの設定	16
◇ RS-MS3Wの設定	16
■ RS-MS3Aを使用する場合	17
◇ ダウンロードのしかた	17
◇ USBケーブルで接続する場合	17
◇ Bluetoothで接続する場合	18
◇ RS-MS3Aの設定	18
■ RS-MS3Iを使用する場合	19
◇ ダウンロードのしかた	19
◇ Bluetoothの接続	19
◇ RS-MS3Iの設定	19

3 ターミナルモードで運用する

■ ターミナルモードを開始する	20
■ ターミナルモード運用中の操作	21
◇ ゲート越えCQを出したいとき	21
◇ 特定局を呼び出したいとき	21

4 アクセスポイントモードで運用する

■ アクセスポイントモードを開始する	22
■ アクセスポイントモードの無線機を経由してゲートウェイ通信をする	23
◇ DR機能を使用する場合	23
◇ DR機能を使用しない場合	25
■ 内蔵ゲートウェイ時のエラー表示について	27

5 困ったときは

■ ターミナルモード運用時	28
■ アクセスポイントモード運用時	30
■ 各ソフトウェア/アプリのエラーメッセージ一覧	33

1 ご使用になる前に

■免許申請について

【ターミナルモードをご使用になる場合】

使用する無線機の局免許をすでにお持ちの場合は、追加の申請は不要です。

【アクセスポイントモードをご使用になる場合】

アクセスポイント側の無線機は、クライアント側の無線機と異なる局免許が必要です。

詳しくは、JARL「アマチュア無線と公衆網との接続のための指針」をご確認ください。

※ アクセスポイント側の無線機は、社団局の免許を取得することをおすすめします。

■ゲートウェイコールサインについて

使用する無線機のコールサインをD-STAR管理サーバーにあらかじめ登録してください。

(弊社ホームページに掲載の「D-STAR 管理サーバーへの登録」参照)

◇ターミナルモードをご使用になる場合

自局のコールサインを登録してください。

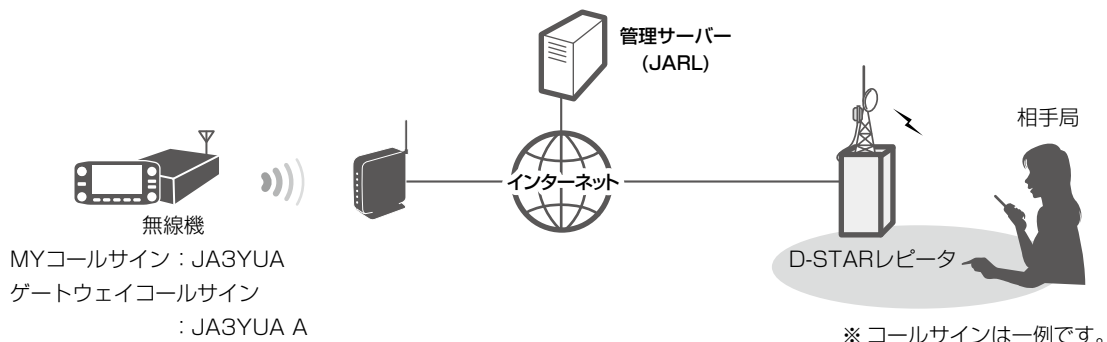
ゲートウェイコールサインは、登録したコールサイン(6文字)にスペースと任意の識別符号(G、I、Sを除くA～Z)を付けて、必ず8文字で設定してください。

※ コールサインが5文字以下の場合、識別符号が8文字目になるように、コールサインのあとにスペースを入力してください。

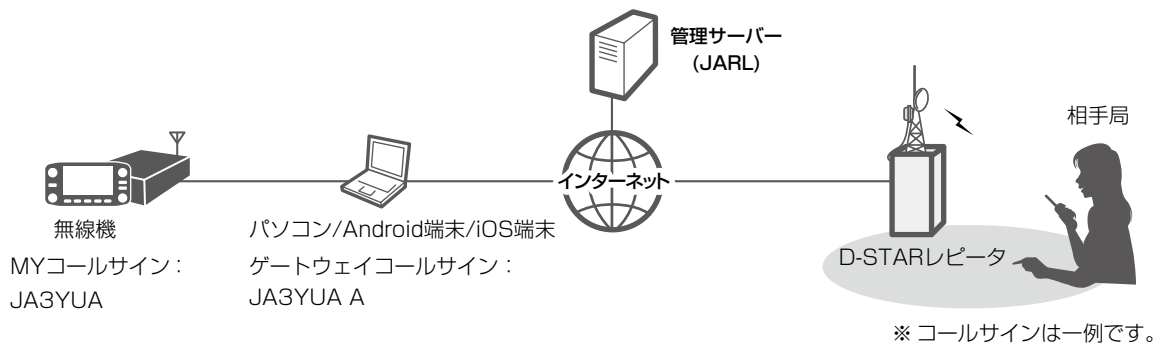
※ コールサインが7文字の場合は、8文字目に識別符号を入力してください。

◎内蔵ゲートウェイを使用する場合、ゲートウェイコールサインを無線機の「ゲートウェイコールサイン」に設定してください。(P.14)

(MENU > DV GW > 内蔵ゲートウェイ設定 > ゲートウェイコールサイン)



◎外部ゲートウェイを使用する場合、ゲートウェイコールサインをRS-MS3W、RS-MS3A、またはRS-MS3Iの「ゲートウェイコールサイン」欄に設定してください。



自局コールサイン登録時のご注意

「自局コールサイン(TM)」からターミナルモードで使用する自局のコールサインを変更できます。

(MENU > SET > 自局設定 > 自局コールサイン(TM))

※ 初期設定では、「自局コールサイン」と同じコールサインを使用します。(MENU > SET > 自局設定 > 自局コールサイン)

「自局コールサイン」で設定したコールサインと同じコールサインを使用する場合は、設定を変更する必要はありません。

※ 「自局コールサイン(TM)」を編集すると、「自局コールサイン」も変更されます。

※ 登録内容(MY1～6)は、通常のDVモードとターミナルモードで共通です。

1 ご使用になる前に

■ゲートウェイコールサインについて

◇アクセスポイントモードをご使用になる場合

アクセスポイント側の無線機と、クライアント側の無線機のコールサインを登録してください。

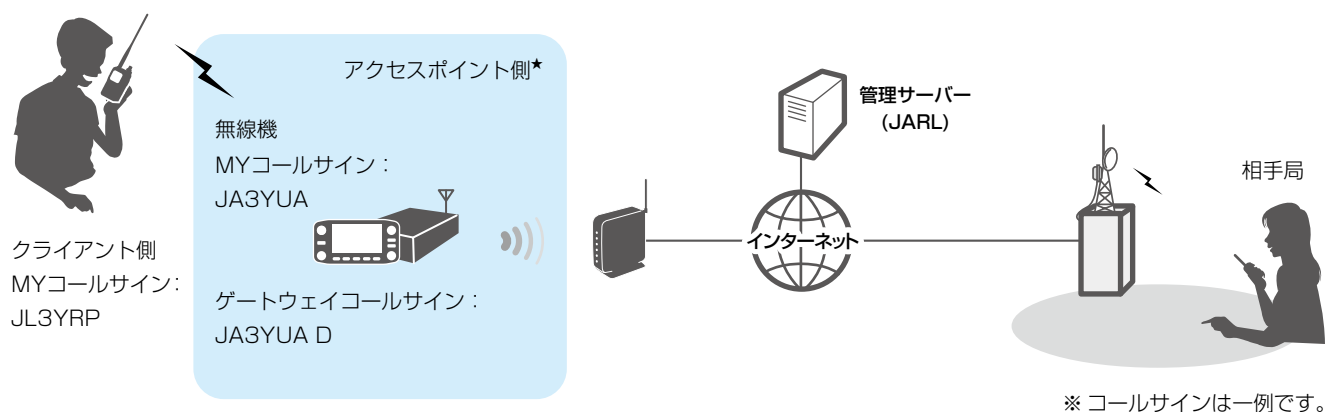
ゲートウェイコールサインは、アクセスポイント側無線機のコールサイン(6文字)にスペースと任意の識別符号(G、I、Sを除くA～Z)を付けて、必ず8文字で設定してください。

※ コールサインが5文字以下の場合、識別符号が8文字目になるように、コールサインのあとにスペースを入力してください。

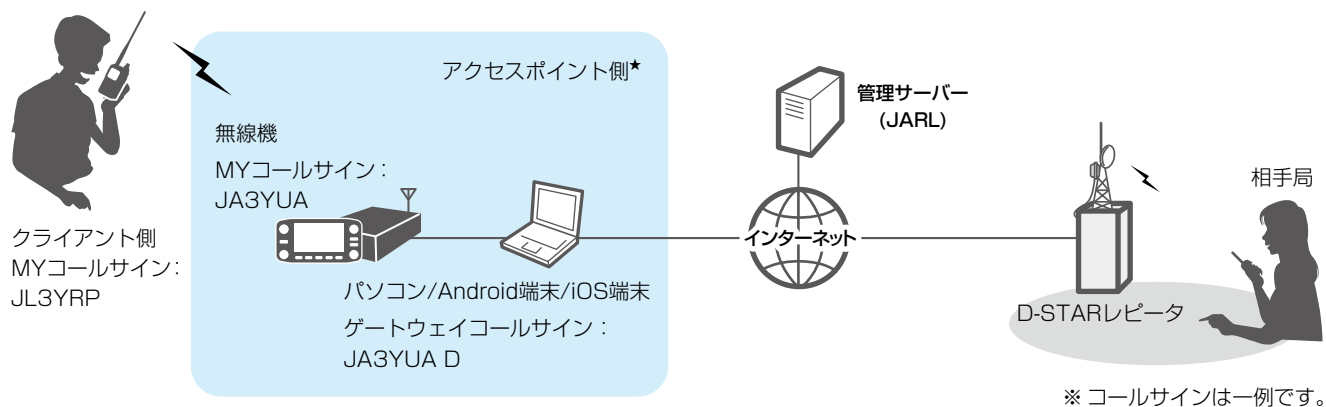
※ コールサインが7文字の場合は、8文字目に識別符号を入力してください。

◎内蔵ゲートウェイを使用する場合、ゲートウェイコールサインを無線機の「ゲートウェイコールサイン」に設定してください。(P.14)

(MENU > DV GW > 内蔵ゲートウェイ設定 > **ゲートウェイコールサイン**)



◎外部ゲートウェイを使用する場合、ゲートウェイコールサインをRS-MS3W、RS-MS3A、またはRS-MS3Iの[ゲートウェイコールサイン]欄に設定してください。



★JARL「アマチュア無線と公衆網との接続のための指針」をご確認ください。

1 ご使用になる前に

■ネットワーク環境を準備する

DVゲートウェイ機能を使用するためのネットワーク環境を準備します。

下記のネットワーク環境が準備できるかご確認ください。

- ◎ グローバルIPアドレス
- ◎ ポートの開放設定

準備できる場合 → 下記の「内蔵ゲートウェイをご使用になる場合」、または「外部ゲートウェイをご使用になる場合」から接続方法の説明へお進みください。

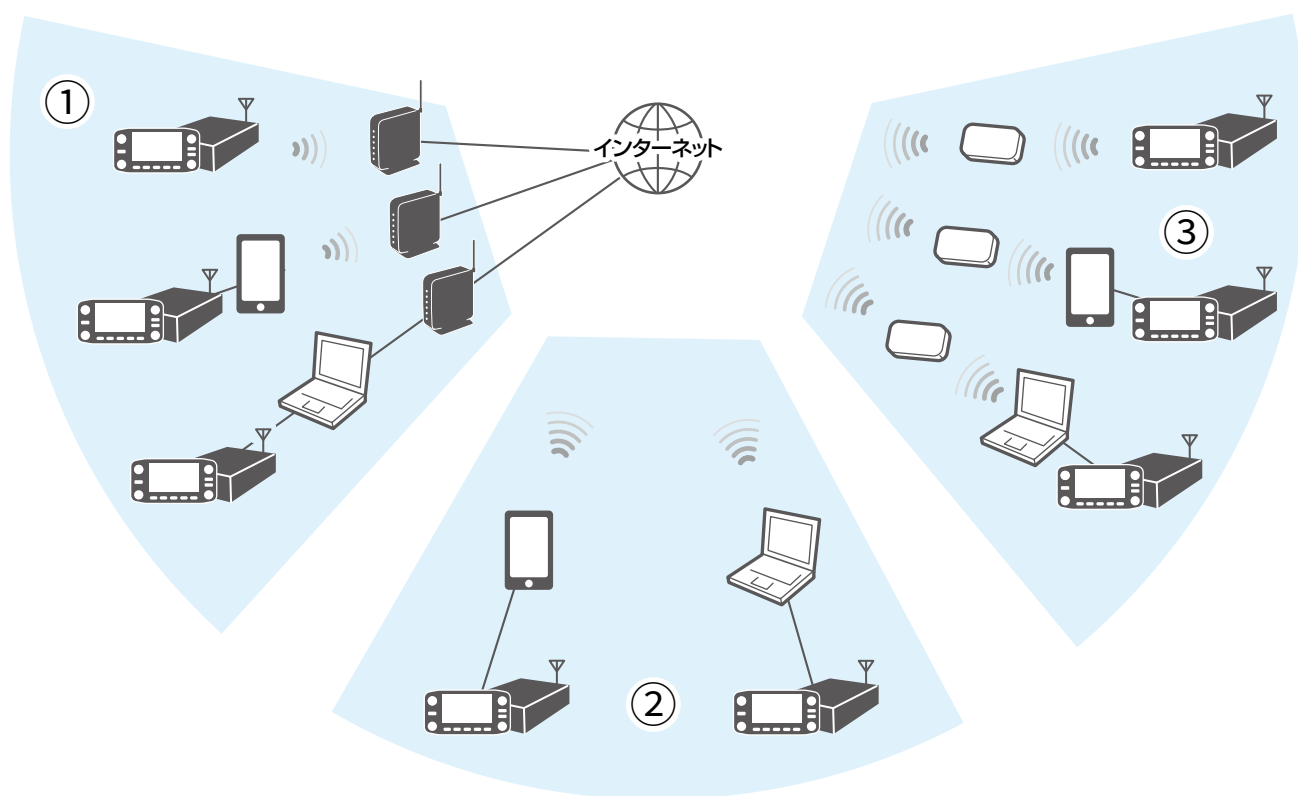
準備できない場合 → UDPホールパンチの説明へお進みください。(P.9)

内蔵ゲートウェイをご使用になる場合

- ① ルーター経由でインターネット回線に接続する場合→P.10
- ③ モバイルルーター経由でインターネット回線に接続する場合→P.13

外部ゲートウェイをご使用になる場合

- ① ルーター経由でインターネット回線に接続する場合→P.10
- ② 携帯電話回線に接続する場合→P.12
- ③ モバイルルーター経由でインターネット回線に接続する場合→P.13



※ パソコンを携帯電話回線に接続するには、携帯電話回線での通信に対応したパソコンが必要です。

1 ご使用になる前に

■ネットワーク環境を準備する

◇UDPホールパンチについて

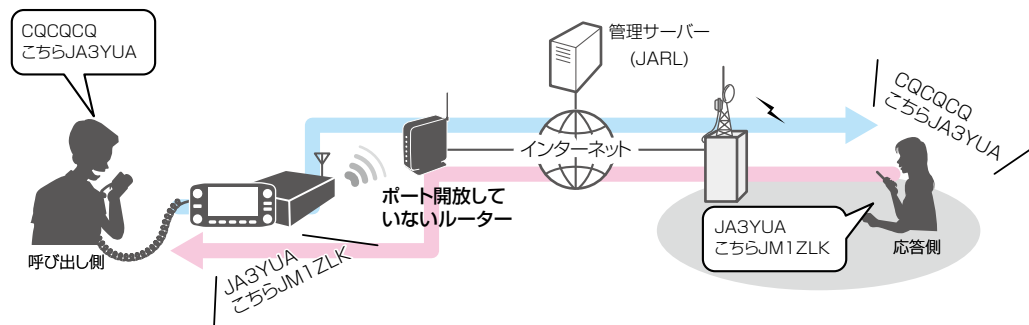
公衆無線LANサービス利用時など、ルーターのポート開放ができない場合や、ご使用になる端末にグローバルIPアドレスを割り当てることができない場合に設定します。

アクセスポイントモードやターミナルモードで呼び出したり、他局からの呼び出しを待ち受けしたりできます。

※ただし、すべての呼び出しに対して受信できることを保証するものではありません。

※海外レピータを使用している局からの応答は受信できません。

※ご使用のネットワーク環境によっては受信できない場合があります。



※ 使用環境に合わせて、下記の「UDPホールパンチ」を「ON」に設定してください。

- ・内蔵ゲートウェイをご使用のかた : 無線機(MENU > DV GW > 内蔵ゲートウェイ設定 > **UDPホールパンチ**)
- ・パソコンをご使用のかた : RS-MS3W
- ・Android端末をご使用のかた : RS-MS3A
- ・iOS端末をご使用のかた : RS-MS3I

※ 下記の場合は、「UDPホールパンチ」を「OFF」に設定してください。

- ・接続するルーターにグローバルIPアドレスが割り当てられていて、ルーターの40000番ポートを開放している場合
- ・ご使用になる端末にグローバルIPアドレスが割り当てられている場合

ご注意

◎ 下記のバージョン以降に限ります。

- ・RS-MS3W : バージョン1.40
- ・RS-MS3A : バージョン1.50
- ・RS-MS3I : バージョン1.1.0

◎ 下記の場合、相手局からの応答を受信するにはルーターの40000番ポートの開放、または端末にグローバルIPアドレスの割り当てが必要です。

- ・以前のバージョンのソフトウェアを使用している
- ・応答側が、以前のバージョンのソフトウェア、ファームウェアでDVゲートウェイ機能を使用している

→内蔵ゲートウェイをご使用のかたは、「**■内蔵ゲートウェイを使用する場合**」(P.14)へ

→パソコンをご使用のかたは、「**■RS-MS3Wを使用する場合**」(P.16)へ

→Android端末をご使用のかたは、「**■RS-MS3Aを使用する場合**」(P.17)へ

→iOS端末をご使用のかたは、「**■RS-MS3Iを使用する場合**」(P.19)へ

1 ご使用になる前に

■ネットワーク環境を準備する

◇ルーター経由でインターネット回線に接続する場合

UDPホールパンチをOFFにしてDVゲートウェイ機能を使用するには、下記が必要です。

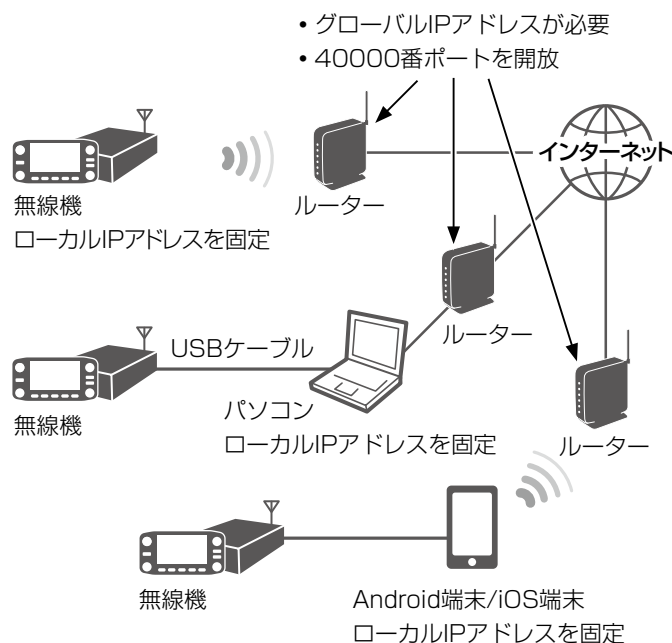
◎グローバルIPアドレス

◎ローカルIPアドレスの固定

- 内蔵ゲートウェイを使用する場合
：無線機のローカルIPアドレスを固定する
- 外部ゲートウェイを使用する場合
：パソコンやAndroid端末/iOS端末のローカルIPアドレスを固定する

◎ポートの開放設定

グローバルIPアドレスがない場合やポートを開放できない場合は、UDPホールパンチをONにしてご使用ください。(P.9)



1. グローバルIPアドレスを取得する

ご使用になるルーターにIPv4のグローバルIPアドレス(固定、または動的)が必要です。

- ※ グローバルIPアドレスが割り当てられていない場合、相手局への送信はできますが、相手局からの信号を受信できません。
- ※ プロバイダー(インターネット接続業者)によって、グローバルIPアドレスが割り当てられない場合があります。
- ※ グローバルIPアドレスの契約や設定方法については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

2. ローカルIPアドレスを固定する

内蔵ゲートウェイをご使用の場合は、本製品のローカルIPアドレスを固定する必要があります。

外部ゲートウェイをご使用の場合は、パソコンやAndroid端末/iOS端末のローカルIPアドレスを固定する必要があります。

※ 使用できるIPアドレスはルーターによって異なります。詳しくは、使用するルーターのメーカーにご確認ください。

※ ご使用のルーターに接続している複数の機器に同じIPアドレスを設定しないでください。

※ パソコンやAndroid端末/iOS端末の設定方法については、ご使用の端末のメーカーにご確認ください。

本製品のローカルIPアドレスを固定する場合

Wi-Fi(無線LAN)を「ON」に設定し、接続設定画面で下記を設定します。

(MENU > SET > Wi-Fi設定 > **Wi-Fi**)

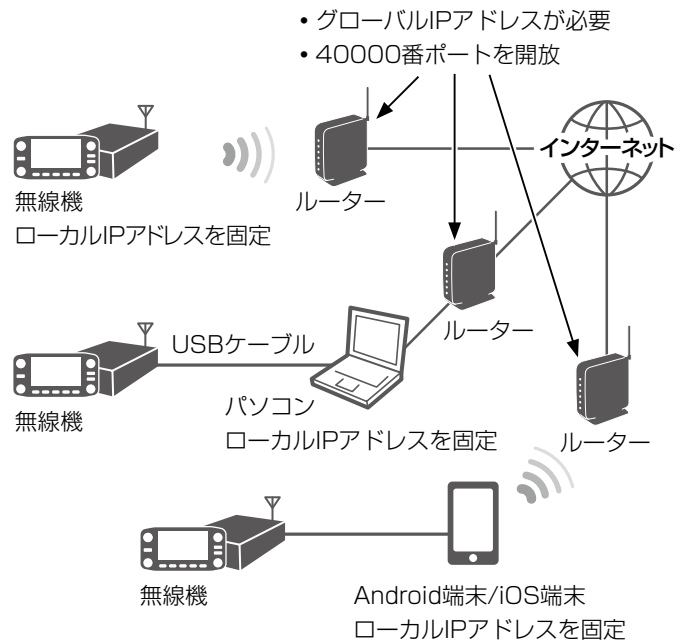
(MENU > SET > Wi-Fi設定 > **接続設定 (* 再起動後に有効)**)

項目名	設定内容
DHCP*	ON(初期値) → OFF
IPアドレス*	割り当て可能なIPアドレス 例：192.168.0.10(初期設定)
サブネットマスク*	使用するネットワークのサブネットマスク ※ 通常は、「255.255.255.0」(初期設定)のままご使用ください。
デフォルトゲートウェイ*	使用するネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレス ※ 通常は、接続するルーターのIPアドレスを設定します。 例：192.168.0.1
プライマリDNSサーバー*	使用するDNSサーバーのIPアドレス ※ 通常は、接続するルーターのIPアドレスを設定します。 例：192.168.0.1
セカンダリDNSサーバー*	使用するセカンダリDNSサーバーのIPアドレス ※ 通常は、設定する必要はありません。 ネットワーク環境によって、必要に応じて設定します。

1 ご使用になる前に

■ネットワーク環境を準備する

◇ルーター経由でインターネット回線に接続する場合



3. ルーターを設定してポートを開放する

ルーターを使用してインターネットに接続する場合、下記のようにルーターを設定して、インターネット側(外部)からのアクセスを許可する必要があります。

- 許可するには、40000番ポートを開放します。
- 開放するポート番号のプロトコルは、「UDP」を指定します。
- ポートの転送先に、「2. ローカルIPアドレスを固定する」で固定したローカルIPアドレスを指定します。

※ルーターによって、ポート開放設定の操作が異なりますので、使用するルーターのメーカーにご確認ください。

※ 1つのルーターに接続している無線機、パソコン、Android端末/iOS端末のうち、DVゲートウェイ機能を使用できるのは1端末だけです。

- 内蔵ゲートウェイをご使用のかたは、「**■ 内蔵ゲートウェイを使用する場合**」(P.14)へ
- パソコンをご使用のかたは、「**■ RS-MS3Wを使用する場合**」(P.16)へ
- Android端末をご使用のかたは、「**■ RS-MS3Aを使用する場合**」(P.17)へ
- iOS端末をご使用のかたは、「**■ RS-MS3Iを使用する場合**」(P.19)へ

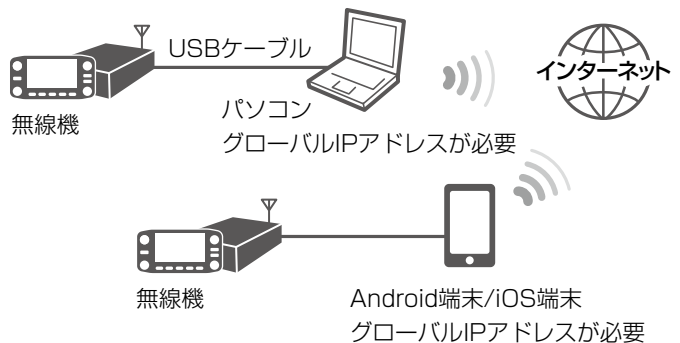
1 ご使用になる前に

■ネットワーク環境を準備する

◇パソコンやAndroid端末/iOS端末を携帯電話回線に接続する場合

ご使用になるソフトウェア、またはアプリのUDPホールパンチをOFFにしてDVゲートウェイ機能を使用するには、グローバルIPアドレスが必要です。

グローバルIPアドレスがない場合は、UDPホールパンチをONにしてご使用ください。(P.9)



※ パソコンを携帯電話回線に接続するには、携帯電話回線での通信に対応したパソコンが必要です。

グローバルIPアドレスを取得する

ご契約の通信事業者に、ご使用になるパソコンやAndroid端末/iOS端末に対してIPv4のグローバルIPアドレス(固定、または動的)を占有して割り当ててもらう必要があります。

グローバルIPアドレスの契約や、端末の設定方法については、ご契約の通信事業者にお問い合わせください。

※ グローバルIPアドレスが割り当てられていない場合、相手局への送信はできますが、相手局からの信号を受信できません。

ご注意

- ◎ 携帯電話回線で運用する場合は、必ずご使用になる端末のWi-Fiを「OFF」に設定してください。
- ◎ 携帯電話回線で運用する場合は、頭切れしたり、通信が途切れたりすることがあります。
- ◎ ご契約条件によって、多額の接続料が発生する場合があります。
料金体系については、ご契約の通信事業者にご確認ください。

ご参考：グローバルIPアドレスの契約について

(2026年6月現在)

◎auをご使用の場合

LTE NET for DATA、または5G NET for DATAの契約が必要です。

LTE NET for DATA、または5G NET for DATAを契約後、Android/iOS端末の設定を変更すると、端末に1つのグローバルIPアドレスが占有して割り当てられます。

詳しくは、通信事業者のサポートセンターにお問い合わせください。

◎ドコモをご使用の場合

mopera Uの契約が必要です。

mopera Uを契約後、Android/iOS端末の設定を変更すると、端末に1つのグローバルIPアドレスが占有して割り当てられます。

詳しくは、通信事業者のサポートセンターにお問い合わせください。

→パソコンをご使用のかたは、「■RS-MS3Wを使用する場合」(P.16)へ

→Android端末をご使用のかたは、「■RS-MS3Aを使用する場合」(P.17)へ

→iOS端末をご使用のかたは、「■RS-MS3Iを使用する場合」(P.19)へ

1 ご使用になる前に

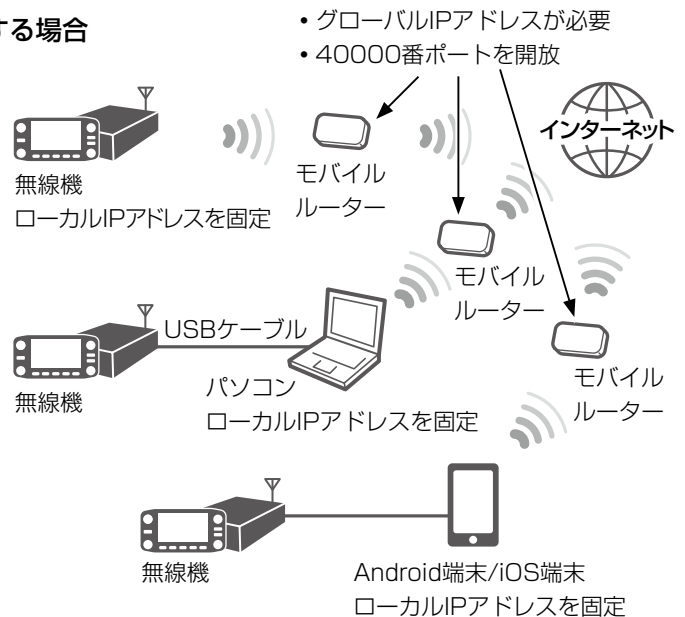
■ネットワーク環境を準備する

◇モバイルルーター経由でインターネット回線に接続する場合

UDPホールパンチをOFFにしてDVゲートウェイ機能を使用するには、下記が必要です。

- ◎グローバルIPアドレス
- ◎ローカルIPアドレスの固定
 - ・内蔵ゲートウェイを使用する場合
：無線機のローカルIPアドレスを固定する
 - ・外部ゲートウェイを使用する場合
：パソコンやAndroid端末/iOS端末のローカルIPアドレスを固定する
- ◎ポートの開放設定

グローバルIPアドレスがない場合やポートを開放できない場合は、UDPホールパンチをONにしてご使用ください。(P.9)



1. グローバルIPアドレスを取得する

ご使用になるルーターにIPv4のグローバルIPアドレス(固定、または動的)が必要です。

- ※ グローバルIPアドレスが割り当てられていない場合、相手局への送信はできますが、相手局からの信号を受信できません。
- ※ プロバイダー(インターネット接続業者)によって、グローバルIPアドレスが割り当てられない場合があります。
- ※ グローバルIPアドレスの契約や設定方法については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

2. ローカルIPアドレスを固定する

内蔵ゲートウェイをご使用の場合は、本製品のローカルIPアドレスを固定する必要があります。

外部ゲートウェイをご使用の場合は、パソコンやAndroid端末/iOS端末のローカルIPアドレスを固定する必要があります。

※ 使用できるIPアドレスは、ルーターによって異なります。詳しくは、使用するルーターのメーカーにご確認ください。

※ ご使用のルーターに接続している複数の機器に同じIPアドレスを設定しないでください。

※ パソコンやAndroid端末/iOS端末の設定方法については、ご使用の端末のメーカーにご確認ください。

3. モバイルルーターを設定してポートを開放する

モバイルルーターを使用してインターネットに接続する場合、下記のようにモバイルルーターを設定して、インターネット側(外部)からのアクセスを許可する必要があります。

- ・ 許可するには、40000番ポートを開放します。
- ・ 開放するポート番号のプロトコルは、「UDP」を指定します。
- ・ ポートの転送先に、「2. ローカルIPアドレスを固定する」で固定したローカルIPアドレスを指定します。

※ モバイルルーターによって、ポート開放設定の操作が異なりますので、使用するモバイルルーターのメーカーにご確認ください。

※ 1つのモバイルルーターに接続している無線機、パソコン、Android端末/iOS端末のうち、DVゲートウェイ機能を使用できるのは1端末だけです。

→内蔵ゲートウェイをご使用のかたは、「■内蔵ゲートウェイを使用する場合」(P.14)へ

→パソコンをご使用のかたは、「■RS-MS3Wを使用する場合」(P.16)へ

→Android端末をご使用のかたは、「■RS-MS3Aを使用する場合」(P.17)へ

→iOS端末をご使用のかたは、「■RS-MS3Iを使用する場合」(P.19)へ

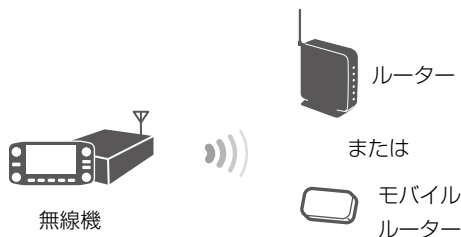
2 接続と設定

DVゲートウェイ機能を使用するために、無線機をルーター、パソコン、またはAndroid端末/iOS端末に接続し、アクセスする管理サーバーのアドレスや、ゲートウェイコールサインなどを設定します。

■内蔵ゲートウェイを使用する場合

無線LANでの接続

無線機とルーター、またはモバイルルーターを無線LANで接続します。



内蔵ゲートウェイ設定

1. 内蔵ゲートウェイ設定画面を表示させる

MENU > DV GW > 内蔵ゲートウェイ設定

2. 設定する項目をタッチする
(例：ゲートウェイコールサイン)



3. 設定値を入力し、[ENT]をタッチする
(例：JA3YUA A)

※ 入力方法や文字の種類、最大文字数などは、ご使用になる無線機の取扱説明書をご覧ください。



4. [EXIT]を押すと、内蔵ゲートウェイ設定画面が解除される

管理サーバーアドレス (初期設定：trust.d-star.info)

管理サーバーのIPアドレス、またはドメイン名を設定します。

※ 半角英数字64文字以内で入力します。

※ ドメイン名は、省略せずに入力してください。

日本国内で運用するときは、「trust.d-star.info」(初期値)のままご使用ください。

※ 「ゲートウェイ種別」を「海外」から「日本」に変更すると、自動で「trust.d-star.info」が入力されます。

ゲートウェイコールサイン

ゲートウェイコールサインを設定します。

※ 半角英数字8文字で入力してください。

※ 8文字目に識別符号(G、I、Sを除くA～Z)を入力してください。

※ ゲートウェイコールサインについては、6ページをご覧ください。

ゲートウェイ種別 (初期設定：日本)

ゲートウェイ種別を選択します。

※ 日本国内で運用するときは、「日本」(初期値)のままご使用ください。

UDPホールパンチ (初期設定：ON)

接続するルーターのポート開放ができない場合や、ご使用になる端末にグローバルIPアドレスを割り当てることができない場合に設定します。

アクセスポイントモードやターミナルモードで呼び出したり、他局からの呼び出しを待ち受けしたりできます。

※ すべての呼び出しに対して受信できることを保証するものではありません。

※ 海外レピータを使用している局からの応答は受信できません。

※ ご使用のネットワーク環境によっては受信できない場合があります。

※ 「ON」に設定しても、UDPホールパンチ非対応のバージョンでDVゲートウェイ機能を使用している局からの応答は受信できません。

※ 接続するルーターの40000番ポートが開放されている場合は、「OFF」に設定してください。

2 接続と設定

■内蔵ゲートウェイを使用する場合

許可コールサイン(アクセスポイントモード) (初期設定：無効)

指定したコールサインの局だけ、インターネット回線への送信を許可する機能を設定します。

- 無効：すべてのコールサインからの送信を許可する
- 有効：許可コールサイン一覧に登録されたコールサインからの送信だけ許可する

許可コールサイン一覧

「許可コールサイン」を「有効」に設定したときに、インターネット回線への送信を許可する局のコールサインを設定します。

※ 最大30局登録できます。

許可コールサインを追加するときは

1. 許可コールサイン一覧画面で、長く(約1秒)タッチする



2. 「追加」をタッチする



3. コールサインを入力して、[ENT]をタッチする
※ 入力方法や文字の種類、最大文字数などは、ご使用になる無線機の取扱説明書をご覧ください。



許可コールサインを削除するときは

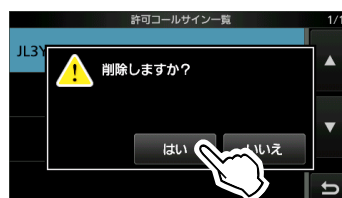
1. 削除したいコールサインを、長く(約1秒)タッチする



2. 「削除」をタッチする



3. 「はい」をタッチする



2 接続と設定

■RS-MS3Wを使用する場合

RS-MS3Wは、無線機の外部ゲートウェイ機能を使用するためのWindows用ソフトウェアです。

弊社ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

※ ご用意いただくものについては、3ページをご覧ください。

◇インストールのしかた

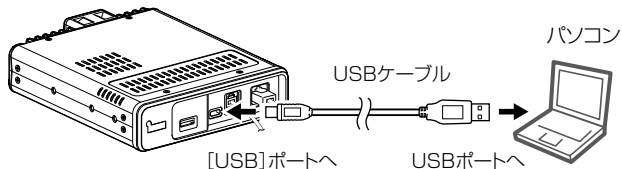
ソフトウェアの最新版を弊社ホームページからダウンロードしてください。

インストールのしかたについては、弊社ホームページに掲載の「RS-MS3W操作説明書」をご覧ください。

◇USBケーブルの接続

無線機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

(例：ID-5200)



◎ID-5200を使用するとき

「USB接続」が「シリアルポート」(初期設定)に設定されているかご確認ください。

(MENU > SET > 外部端子 > **USB接続**)

※ ID-5200の場合、シリアルポート設定時は、パソコンに接続すると、「**USB COM**」が表示されます。

※ [FUNC]を押して表示されるFUNCTION画面で「USB」を「COM」に設定しても、シリアルポートに切り替えられます。

ご注意

USBケーブルを抜き差しするときは、必ず無線機の電源を切ってください。

◇COMポートの設定

USBケーブルが接続されているパソコンのCOMポート番号を設定してください。

※ 無線機とパソコンを接続し、無線機の電源を入れた状態で、下記のように操作してください。

1. 「設定(S)」メニューの中から、「COMポート(P)」をクリックする
2. ▼をクリックすると表示されるドロップダウンリストから、無線機が接続されているパソコンのCOMポート番号を選択する
※ COMポート番号の確認は、USBドライバーの「インストールガイド」をご覧ください。
3. <OK>をクリックする

◇RS-MS3Wの設定

RS-MS3Wの各項目を設定します。

また、ゲートウェイコールサイン(P.6、P.7)は、必ず設定してください。

設定のしかたや設定値については、弊社ホームページに掲載の「RS-MS3W操作説明書」をご覧ください。



※ Ver1.41の画面を使用しています。

ご注意：ファイアウォールについて

パソコンやセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールをご使用の場合、必要な通信が阻害され、正常に動作しないことがあります。

ご使用前に、「RS-MS3W」の通信が許可されているかご確認ください。

※ パソコンやセキュリティソフトウェアによって設定方法が異なりますので、使用するパソコンやセキュリティソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

2 接続と設定

■RS-MS3Aを使用する場合

RS-MS3Aは、無線機の外部ゲートウェイ機能を使用するためのAndroid端末用アプリケーションです。

Android端末内の「Play ストア」からアプリケーションをダウンロードしてください。

※ご用意いただくものについては、3ページをご覧ください。

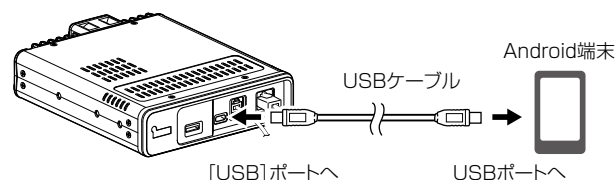
◇ダウンロードのしかた

1. Android端末を起動する
2. 「Play ストア」をタップする
3. 「RS-MS3A」を入力する
※すべて入力しないと検索できない場合があります。
4. 「」(検索)をタップする
 - 候補のアプリの中から「RS-MS3A」が表示されます。
 - ※ お使いになる端末がRS-MS3Aに対応していない場合、候補のアプリに「RS-MS3A」が表示されないことがあります。
5. 「RS-MS3A」をタップする
 - RS-MS3Aの紹介画面が表示されます。
6. 「インストール」をタップする
7. 「同意してダウンロード」をタップする
 - アプリのインストールが開始されます。
 - インストールが完了すると、ホーム画面にRS-MS3Aのアイコンが表示されます。

◇USBケーブルで接続する場合

無線機とAndroid端末をUSBケーブルで接続します。

(例：ID-5200)



◎ID-5200を使用するとき

「USB接続」が「シリアルポート」(初期設定)に設定されているかご確認ください。

(MENU > SET > 外部端子 > **USB接続**)

※ID-5200では、上記の設定でAndroid端末に接続したとき、「」が表示されます。

※ [FUNC] を押して表示されるFUNCTION画面で「USB」を「COM」に設定しても、シリアルポートに切り替えられます。

ご注意

◎USBケーブルを抜き差しするときは、必ず無線機の電源を切ってください。

◎USBケーブルを使用しないときはAndroid端末からはずしてください。

USBケーブルを接続したままにしておくと、Android端末のバッテリー消耗が早くなります。

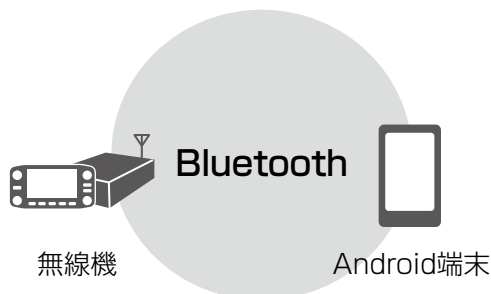
◎Android端末にUSBケーブルを接続したときにアプリ選択画面が表示された場合、「RS-MS3A」を選択するとアプリが起動します。

2 接続と設定

■RS-MS3Aを使用する場合

◇Bluetoothで接続する場合

無線機とAndroid端末をBluetoothでペアリングします。



端末とのペアリング方法については、無線機の活用マニュアル(PDF)をご覧ください。

ご注意

使用しないときは、Bluetooth接続を切断してください。接続したままにしておくと、Android端末のバッテリーの消耗が早くなります。

◇RS-MS3Aの設定

RS-MS3Aの各項目を設定します。

また、ゲートウェイコールサイン(P.6、P.7)は、必ず設定してください。

設定のしかたや設定値については、弊社ホームページに掲載の「RS-MS3A操作説明書」をご覧ください。



※Ver1.51の画面を使用しています。

USB接続時のご注意

Android端末が正常に動作しないときは、無線機とAndroid端末の距離をはなして使用してください。

2 接続と設定

■RS-MS3Iを使用する場合

RS-MS3Iは、無線機の外部ゲートウェイ機能を使用するためのiOS端末用アプリケーションです。
iOS端末内の「App Store」からアプリケーションをダウンロードしてください。

※ご用意いただくものについては、3ページをご覧ください。

◇ダウンロードのしかた

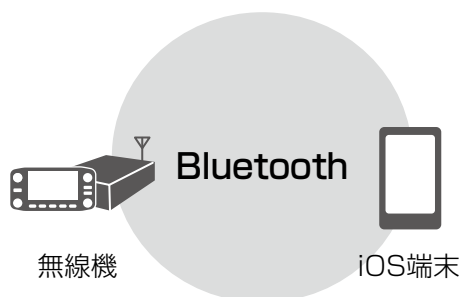
1. iOS端末を起動する
2. 「App Store」をタップする
3. 「🔍」(検索)をタップする
4. 「RS-MS3I」を入力する
 - 候補のアプリの中から「RS-MS3I」が表示されます。
- ※ お使いになる端末がRS-MS3Iに対応していない場合、候補のアプリに「RS-MS3I」が表示されないことがあります。
5. 「RS-MS3I」をタップする
 - RS-MS3Iの紹介画面が表示されます。
6. 「入手」をタップする
 - アプリのインストールが開始されます。
 - インストールが完了すると、ホーム画面にRS-MS3Iのアイコンが表示されます。

◇Bluetoothの接続

無線機とiOS端末をBluetoothでペアリングします。

ペアリング時のご注意

RS-MS3I上でのペアリングが必要です。
市販のBluetooth機器とのペアリングとは手順が異なります。
iOS端末の設定アプリからペアリングをしないでください。



端末とのペアリング方法については、無線機の活用マニュアル(PDF)をご覧ください。

ご注意

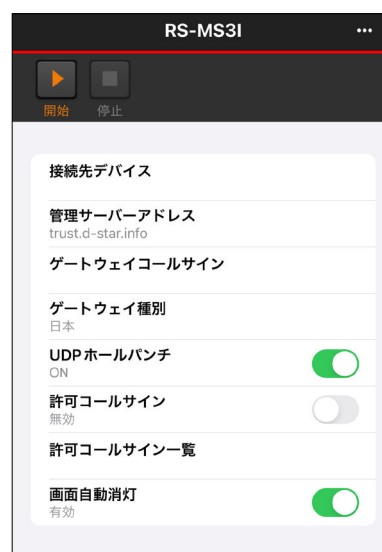
使用しないときは、Bluetooth接続を切断してください。
接続したままにしておくと、iOS端末のバッテリーの消耗が早くなります。

◇RS-MS3Iの設定

RS-MS3Iの各項目を設定します。

また、ゲートウェイコールサイン(P.6、P.7)は、必ず設定してください。

設定のしかたや設定値については、弊社ホームページに掲載の「RS-MS3I操作説明書」をご覧ください。



※ Ver1.1.2の画面を使用しています。

3 ターミナルモードで運用する

■ターミナルモードを開始する

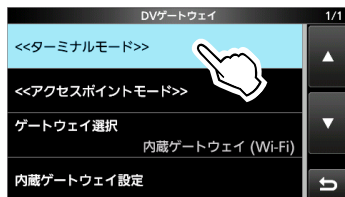
ご注意

ターミナルモードで運用中は、定期的送信してください。
定期的送信しないと、通信できなくなる場合があります。

1. DVゲートウェイ画面を表示させる

MENU > DV GW

2. 「《ターミナルモード》」をタッチする



内蔵ゲートウェイ表示



外部ゲートウェイをご使用の場合は、
「(外部)」と表示されます。

ターミナルモード中のデュアルワッチに対応しているため、
MAIN/SUB を切り替えて運用することもできます。

外部ゲートウェイをご使用の場合

無線機をターミナルモードにしてから、各ソフトウェア/
アプリの〈開始〉▶をクリック(タップ)します。

※ 外部ゲートウェイの設定方法については、2ページを
ご覧ください。

※ RS-MS3Aの場合、[接続方法]欄で「USB」、または
「Bluetooth」を選択してください。

※ エラーメッセージが表示されたときの対処方法については、
33ページをご覧ください。

RS-MS3W



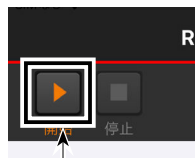
クリックする

RS-MS3A



タップする

RS-MS3I



タップする

※ Bluetooth接続の場合、無線機に接続完了のダイアログが表示され、Bluetoothアイコンが表示されます。



Bluetooth接続が完了
すると表示されます。

ご注意

◎ ターミナルモードで運用中は、タイムアウトタイマー機能が動作しません。

◎ ターミナルモードを開始すると、下記が自動で変更されます。

運用モード : DVモード★

DR機能 : ON★

FROM : 自局のコールサイン

★ターミナルモードを解除しても、ターミナルモード開始
前の設定には戻りません。

◎ ターミナルモードで運用中は、電源を入れなおしてもターミナルモードは解除されません。

ターミナルモードを解除するときは

クイックメニュー、またはMENU画面内のDVゲートウェイ
画面で「《通常モード》」をタッチすると、ターミナルモードを
解除できます。

[QUICK]を押すと、クイックメニューが表示されます。

(MENU > DV GW > 《通常モード》)

※ 外部ゲートウェイをご使用の場合は、各ソフトウェア/ア
プリの〈停止〉■をクリック(タップ)してから、無線機を
通常モードにしてください。

内蔵ゲートウェイ表示について

内蔵ゲートウェイ使用時、通信状態が表示されます。

表示	状態
	待ち受け中
	送信中
	受信
	送信エラー(レピータ使用中)
	送信エラー
	ネットワークエラー
	送信中に受信したとき
	受信エラー

※ エラーが表示されたときの対処方法については、
27ページをご覧ください。

3 ターミナルモードで運用する

■ターミナルモード運用中の操作

ターミナルモードで運用中は、ゲート越えCQと特定局の呼び出しができます。

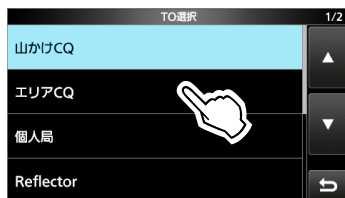
※ 山かけCQ(CQ CQ CQ)を選択しても、通信できません。

◇ゲート越えCQを出したいとき

1. 「TO」をタッチする



2. 「エリアCQ」をタッチする



3. 電波を出したい地域をタッチする(例：01:関東)



4. 電波を出したいレピータをタッチする(例：浜町430)



5. マイクロホンの[PTT]を押して、送信する



※ インターネット回線、または携帯電話回線から音声を受信しているあいだは、送信できません。

※ 応答が受信できなかったときの対処方法については、28ページをご覧ください。

◇特定局を呼び出したいとき

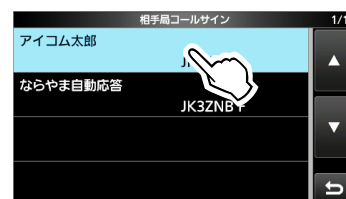
1. 「TO」をタッチする



2. 「個人局」をタッチする



3. 呼び出したい相手をタッチする(例：アイコム太郎)



4. マイクロホンの[PTT]を押して、送信する



※ インターネット回線、または携帯電話回線から音声を受信しているあいだは、送信できません。

※ 応答が受信できなかったときの対処方法については、28ページをご覧ください。

4 アクセスポイントモードで運用する

■アクセスポイントモードを開始する

アクセスポイント側の無線機をアクセスポイントモードにします。

1. DVゲートウェイ画面を表示させる

MENU > DV GW

2. 「《アクセスポイントモード》」をタッチする



外部ゲートウェイをご使用の場合は、「(外部)」と表示されます。

3. [DIAL] を回して、運用周波数を設定する
※ 設定した周波数で、クライアント側の無線機と通信します。

外部ゲートウェイをご使用の場合

無線機をアクセスポイントモードにしてから、各ソフトウェア/アプリの〈開始〉■をクリック(タップ)します。

※ 外部ゲートウェイの設定方法については、2ページをご覧ください。

※ RS-MS3Aの場合、[接続方法]欄で「USB」、または「Bluetooth」を選択してください。

※ エラーメッセージが表示されたときの対処方法については、33ページをご覧ください。

RS-MS3W



クリックする

RS-MS3A



タップする

RS-MS3I



タップする

※ Bluetooth接続の場合、無線機に接続完了のダイアログが表示され、Bluetoothアイコンが表示されます。



Bluetooth接続が完了すると表示されます。

ご注意：運用周波数について

送信する前に、その周波数を他局が使用していないか確認し、混信や妨害を与えないようにご注意ください。

また、バンドの使用区別(バンドプラン)を厳守のうえ、運用してください。

※ アクセスポイントモードで運用する場合は、法令上のVoIP、または全電波型式に指定された周波数をご使用ください。

ご注意

◎ アクセスポイントモードを開始すると、下記が自動で変更されます。

モード	: VFOモード★
周波数	: AIRバンド、アマチュアバンド外、およびDVモードが設定できない周波数に選択されていたときはVHF帯★、またはUHF帯★の周波数に変更する
運用モード	: DVモード★
デュプレックス機能	: OFF★
VOX機能	: OFF
モニター機能	: OFF

★アクセスポイントモードを解除しても、アクセスポイントモード開始前の設定には戻りません。

◎ アクセスポイントモードで運用中は、電源を入れなおしてもアクセスポイントモードは解除されません。

アクセスポイントモードを解除するときは

クイックメニュー、またはMENU画面内のDVゲートウェイ画面で「《通常モード》」をタッチすると、アクセスポイントモードを解除できます。

[QUICK]を押すと、クイックメニューが表示されます。

(MENU > DV GW > 《通常モード》)

※ 外部ゲートウェイをご使用の場合は、各ソフトウェア/アプリの〈停止〉■をクリック(タップ)してから、無線機を通常モードにしてください。

内蔵ゲートウェイ表示について

内蔵ゲートウェイ使用時、通信状態が表示されます。

表示	状態
	待ち受け中
	送信中
	受信中心
	送信エラー(レピータ使用中)
	送信エラー
	ネットワークエラー
	送信中に受信したとき
	受信エラー

※ エラーが表示されたときの対処方法については、27ページをご覧ください。

4 アクセスポイントモードで運用する

■アクセスポイントモードの無線機を経由してゲートウェイ通信をする

クライアント側(■)の無線機を設定します。

※ 各操作について詳しくは、使用する無線機の取扱説明書をご覧ください。

※ ID-51 PLUS2の画面を例にクライアント側の操作を説明します。

ご注意

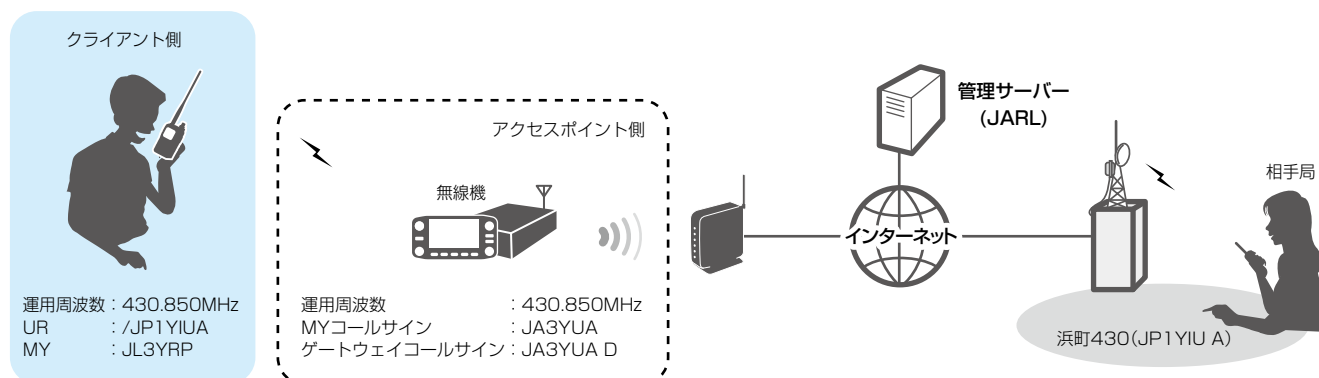
◎ アクセスポイントモードの無線機を経由して運用中は、定期的に[PTT]を押してください。

定期的に送信しないと、通信できなくなる場合があります。

◎ アクセスポイントモードの無線機を経由して運用中は、クライアント側の無線機はゲート越えCQと特定局の呼び出しができます。

※ 山かけCQを選択しても、通信できません。

例：運用周波数を430.850MHzに設定し、ゲート越えCQを出すとき



※ コールサインは一例です。

※ 外部ゲートウェイをお使いの場合は、各ソフトウェア/アプリの[ゲートウェイコールサイン]欄に、スペースと任意の識別符号(G、I、Sを除くA～Z)を付けたアクセスポイント側無線機のコールサイン(例：JA3YUA D)を登録してください。

◇DR機能を使用する場合

ご注意

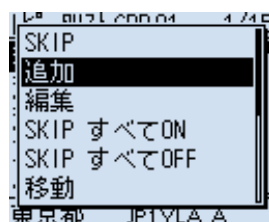
レピータリストをインポートした場合、レピータリストが上書きされるので、再度アクセスポイント情報の登録が必要になります。

1. レピータリストにアクセスポイント情報を登録する

※ MENU画面内のレピータグループから登録できます。

(MENU > DVメモリー > レピータリスト)

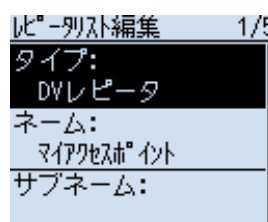
1. アクセスポイント情報を登録したいレピータグループで、「追加」を選択する



※ ID-51 PLUS2の場合：

- ① 登録したいレピータグループを選択し、[QUICK]を押す
- ② 「追加」を選択すると、「レピータリスト編集」画面が表示される

2. 「タイプ」を「DVレピータ」に設定する
3. 「ネーム」、「サブネーム」に任意の名前を設定する(例：マイアクセスポイント)



4 アクセスポイントモードで運用する

■アクセスポイントモードの無線機を経由してゲートウェイ通信をする

◇DR機能を使用する場合

1. レピータリストにアクセスポイント情報を登録する

4. 「コールサイン」にアクセスポイント側無線機のコールサインを設定する(例: JA3YUA)
※「コールサイン」を入力すると、「GWコールサイン」が自動で入力されます。

レピータ編集	2/5
コールサイン:	JA3YUA
GWコールサイン:	JA3YUA G
グループ:	11 シンプレックス

5. 「USE (FROM)」を「YES」に設定する
6. 「周波数」にアクセスポイント側無線機の運用周波数を設定する(例: 430.850)
7. 「DUP」を「DUP-」、または「DUP+」に設定する

レピータ編集	3/5
USE (FROM):	YES
周波数:	430.850.00
DUP:	DUP-

8. 「オフセット周波数」を「0.000.00」に設定する

レピータ編集	4/5
オフセット周波数:	0.000.00
位置情報:	なし
UTCオフセット:	--:--

9. 「《追加書き込み》」を選択し、アクセスポイント情報を書き込む

2. DR機能でアクセスするレピータを設定する

設定したアクセスポイントを「FROM」に設定する

12:00	
A	DV DUF-
TO	CQ CQ CQ
FROM	マイアクセスポイント 430.850 JA3YUA
SLO	20 / / ()

3. あて先(TO)を設定し、送信する

1. あて先(TO)を設定する(例: 浜町430)
※ 山かけCQ(CQ CQ CQ)を設定しても、通信できません。

12:00	
A	DV DUF-
TO	浜町430 JP1YIU A
FROM	マイアクセスポイント 430.850 JA3YUA
SLO	20 / / ()

2. [PTT]を押して、送信する
※ 応答が受信できなかったときの対処方法については、30ページをご覧ください。

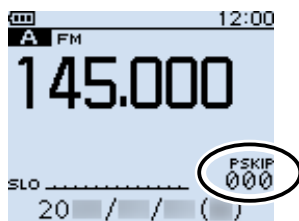
4 アクセスポイントモードで運用する

■アクセスポイントモードの無線機を経由してゲートウェイ通信をする

◇DR機能を使用しない場合

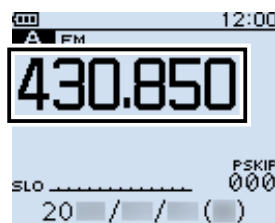
1. VFOモードに切り替える

[V/MHz]を短く押す



2. 運用周波数を設定する

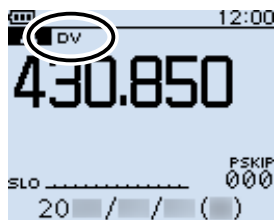
[DIAL]を回して、運用周波数にアクセスポイント側無線機の運用周波数を設定する(例：430.850)



3. DVモードに切り替える

[DV]が表示されるまで、[MODE]を短く押す

※ GPS送信モードを設定している場合、「DV」の代わりに「DV-G」、または「DV-A」が表示されます。

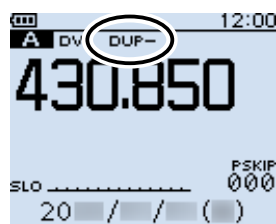
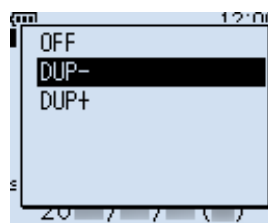


4. デュプレックス設定を「DUP-」、または「DUP+」に設定する

1. [QUICK]を短く押す
2. 上下キーで「DUP」を選択し、決定キーを押す



3. 上下キーで「DUP-」、または「DUP+」を選択し、決定キーを押す



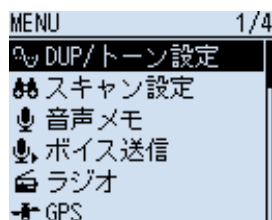
4 アクセスポイントモードで運用する

■アクセスポイントモードの無線機を経由してゲートウェイ通信をする

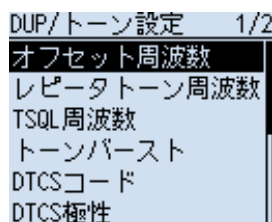
◇DR機能を使用しない場合

5. オフセット周波数を「0.000.00」に設定する

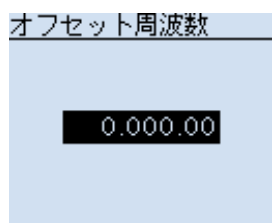
1. [MENU]を短く押す
2. 上下キーで「DUP/トーン設定」を選択し、決定キーを押す



3. 上下キーで「オフセット周波数」を選択し、決定キーを押す



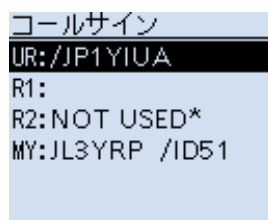
4. 「0.000.00」に設定し、決定キーを押す



5. [MENU]を押して、MENU画面を解除する

6. 相手局(UR)を設定する(例：/JP1YIUA)

1. [CS]を長く(ピッ、ピーと鳴るまで)押すと、コールサイン設定画面を表示する
2. 「UR」にCQを出したいレピータ(エリアレピータ)や、呼びたい相手局のコールサインを設定する
※ アクセスポイントモードの無線機を経由して運用中は、山かけCQ(CQCQCQ)を選択しても、通信できません。



3. [MENU]を押して、コールサイン設定画面を解除する

7. [PTT]を押して、送信する

※ 応答が受信できなかったときの対処方法については、30ページをご覧ください。

ご参考

設定した内容をメモリーチャンネルに記憶させることで、すばやく呼び出して運用できます。
メモリーチャンネルの書き込みかたについて詳しくは、無線機に付属の取扱説明書をご覧ください。

5 困ったときは

■内蔵ゲートウェイ時のエラー表示について

内蔵ゲートウェイ運用時、ネットワークエラー、送信エラー、受信エラーが表示された場合の対処方法について説明しています。

※ターミナルモード運用時は28ページ、アクセスポイントモード運用時は30ページも併せてご確認ください。

表示	原因	処置	参照
	本製品が正しく接続されていない	本製品とルーターが正しく接続されているか、確認する	P.14
	管理サーバーの名前解決ができない	ネットワークの設定を確認する	P.10
	アクセスポイントモード運用時、本製品の「許可コールサイン」が「有効」に設定されているときに、「許可コールサイン一覧」に使用する無線機のコールサインが登録されていない	「許可コールサイン」を「無効」に設定する 「許可コールサイン一覧」に使用する無線機のコールサインを追加する	P.15 P.15
	自局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録、または登録内容が異なる	自局のコールサインをD-STAR管理サーバーに登録する、または登録内容を確認する	D-STAR管理サーバーへの登録(PDF)
	相手局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録または登録内容が異なる	相手局のコールサインの登録状況をD-STAR管理サーバーで確認する ※相手局が公開している場合に限りです。	—
	ターミナルモード、またはアクセスポイントモードを使用している相手局が、定期的に送信しなかった	相手局から送信してもらう	—
	呼び出し先のレピータが使用中	少し時間を空けてから再度呼び出す	—
	送信中に受信した	相手局から再度送信してもらう	—
	相手局から受けているのに受信できない	相手局から再度送信してもらう	—

5 困ったときは

■ターミナルモード運用時

現象	原因	処置	参照
送信後、何もメッセージが返ってこない	内蔵ゲートウェイ使用時、本製品が正しく接続されていない	本製品とルーターが正しく接続されているか確認する	P.14
	外部ゲートウェイ使用時、本製品が正しく接続されていない	本製品とパソコン、またはAndroid端末/iOS端末が正しく接続されているか確認する	—
	外部ゲートウェイ使用時、各ソフトウェア/アプリの〈開始〉  が押されていない	各ソフトウェア/アプリの〈開始〉  を押す	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
	外部ゲートウェイ使用時、各ソフトウェア/アプリの[許可コールサイン]が「有効」に設定されている	各ソフトウェア/アプリの[許可コールサイン]を「無効」に設定する	
送信後、「UR?」と自局のコールサインと識別符号「G」が表示される	正常に電波がレピータに届いているが、3秒以内に相手局から応答がなかったため、「UR?」が表示されている	聞いていた相手局が応答のタイミングを逃している場合もあるため、少し時間を空けてから再度呼び出してみる	—
	相手先のネットワークがダウンしている	相手先のネットワークが復旧するのを待つ	—
送信後、「RX」または「RPT?」と自局のコールサインと識別符号「G」が表示される	自局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録、または登録内容が異なる	自局のコールサインをD-STAR管理サーバーに登録する、または登録内容を確認する	D-STAR管理サーバーへの登録(PDF)
	相手局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録または登録内容が異なる	相手局のコールサインの登録状況をD-STAR管理サーバーで確認する ※相手局が公開している場合に限ります。	—
	ターミナルモード、またはアクセスポイントモードを使用している相手局が、定期的に送信しなかった	相手局から送信してもらう	—
送信後、「RPT?」と呼び出し先レピータのコールサインが表示される	呼び出し先のレピータにつながらない、または使用中	少し時間を空けてから再度呼び出す	—

5 困ったときは

■ターミナルモード運用時

現象	原因	処置	参照
送信後、「RPT?」と自局のコールサインと識別符号「G」が表示される	内蔵ゲートウェイ設定が間違っている	内蔵ゲートウェイ設定を正しく設定する	P.14
	各ソフトウェア/アプリの設定が間違っている	各ソフトウェア/アプリを正しく設定する	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
	自局のコールサインがD-STAR管理サーバーに登録されていない	コールサインをD-STAR管理サーバーに登録する	D-STAR 管理サーバーへの登録 (PDF)
画面の上側に「L」表示が点灯、または点滅する	データの一部を失ったことを知らせる、パケットロスを受信している	長引く場合は、ネットワーク環境を確認する Bluetooth接続の場合は、Bluetoothの通信環境も確認する ※データが化けてパケットロスを受信したと誤認する場合があります。	—
相手局への送信はできるが、相手局から自局への通信ができない	グローバルIPアドレスで接続されていない	インターネット回線、携帯電話回線の状態を確認し、グローバルIPアドレスで接続されていることを確認する グローバルIPアドレスが使用できない場合は、お互い最新の各ソフトウェア/アプリでUDPホールパンチをONに設定する	P.8 P.9
	ルーター、またはモバイルルーターのポート開放が正しくできていない（ルーター、またはモバイルルーターの設定が間違っている、本製品やパソコン、Android端末/iOS端末のローカルIPアドレスが固定できていない）	ルーター、またはモバイルルーターのポート開放を正しく設定する ポート開放が使用できない場合は、お互い最新の各ソフトウェア/アプリでUDPホールパンチをONに設定する	P.10、 P.13 P.9
	ファイアウォールにより通信が遮断されている	ファイアウォール設定を確認する	P.16

5 困ったときは

■アクセスポイントモード運用時

現象	原因	処置	参照
送信後、何もメッセージが返ってこない(Sメーターも振らない)	クライアント側無線機で、自分が使うアクセスポイントの選択が間違っている	アクセスポイント側無線機を「FROM」に設定する	P.23
	クライアント側無線機の周波数が間違っている (またはデュプレックスの設定が間違っている)	周波数(またはデュプレックス設定)を正しく設定する	P.23
	クライアント側無線機からの電波がアクセスポイント側無線機に届いていない	アクセスポイント側無線機に電波が届く場所まで移動する	—
	内蔵ゲートウェイ使用時、本製品が正しく接続されていない	本製品とルーターが正しく接続されているか確認する	P.14
	内蔵ゲートウェイ使用時、本製品の「許可コールサイン」が「有効」に設定されているときに、「許可コールサイン一覧」にクライアント側無線機のコールサインが登録されていない	「許可コールサイン一覧」にクライアント側無線機のコールサインを追加する	P.15
	外部ゲートウェイ使用時、本製品が正しく接続されていない	本製品とパソコン、またはAndroid端末/iOS端末が正しく接続されているか確認する	—
	外部ゲートウェイ使用時、各ソフトウェア/アプリの〈開始〉  が押されていない	各ソフトウェア/アプリの〈開始〉  を押す	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
送信後、「UR?」とアクセスポイントのゲートウェイコールサインと識別符号「G」が表示される	外部ゲートウェイ使用時、各ソフトウェア/アプリの[許可コールサイン]が「有効」に設定されているときに、[許可コールサイン一覧]にクライアント側無線機のコールサインが登録されていない	各ソフトウェア/アプリの[許可コールサイン一覧]にクライアント側無線機のコールサインを追加する	
	アクセスポイント側無線機に正常に電波が届いたが、3秒以内に相手局から応答がなかったため「UR?」が表示された	聞いていた相手局が応答のタイミングを逃している場合もあるため、少し時間を空けてから再度呼び出してみる	—
	相手先のネットワークがダウンしている	相手先のネットワークが復旧するのを待つ	—

5 困ったときは

■アクセスポイントモード運用時

現象	原因	処置	参照
送信後、「RX」、または「RPT?」とアクセスポイントのゲートウェイコールサインと識別符号「G」が表示される	クライアント側無線機の自局のコールサインが未設定	自局のコールサインを無線機に登録する	取扱説明書(冊子)★
	クライアント側無線機の自局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録、または登録内容が異なる	自局のコールサインをD-STAR管理サーバーに登録する、または登録内容を確認する	D-STAR管理サーバーへの登録(PDF)
	相手局のコールサインがD-STAR管理サーバーに未登録、または登録内容が異なる	相手局のコールサインの登録状況をD-STAR管理サーバーで確認する ※相手局が公開している場合に限りです。	—
	呼び出し先のレピータコールサインの設定が間違っている	レピータコールサインを正しく設定する	P.23
	内蔵ゲートウェイ設定が間違っている	内蔵ゲートウェイ設定を正しく設定する	P.14
	各ソフトウェア/アプリの設定が間違っている	各ソフトウェア/アプリを正しく設定する	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
	ターミナルモード、またはアクセスポイントモードを使用している相手局が、定期的送信しなかった	相手局から送信してもらう	—
送信後、「RPT?」と呼び出し先レピータコールサインが表示される	呼び出し先のレピータにつながらない、または使用中	少し時間を空けてから再度呼び出す	—
画面の上側に「L」表示が点灯、または点滅する	データの一部を失ったことを知らせるパケットロスを受信している	長引く場合は、ネットワーク環境を確認する Bluetooth接続の場合は、Bluetoothの通信環境も確認する ※データが化けてパケットロスを受信したと誤認する場合があります。	—

★下記無線機の説明箇所をご覧ください。

ID-5200簡易マニュアル 10章

5 困ったときは

■アクセスポイントモード運用時

現象	原因	処置	参照
「DV」と「FM」が交互に点滅する	DVモードで運用中、FMモードの信号を受信している	少し時間を空けてから再度呼び出す	取扱説明書(PDF)★
相手局への送信はできるが、相手局から自局への通信ができない	グローバルIPアドレスで接続されていない	インターネット回線、携帯電話回線の状態を確認し、グローバルIPアドレスで接続されていることを確認する グローバルIPアドレスが使用できない場合は、お互い最新の各ソフトウェア/アプリでUDPホールパンチをONに設定する	P.8 P.9
	ルーター、またはモバイルルーターのポート開放が正しくできていない(ルーター、またはモバイルルーターの設定が間違っている、パソコンやAndroid端末/iOS端末のIPアドレスが固定できていない)	ルーター、またはモバイルルーターのポート開放を正しく設定する ポート開放が使用できない場合は、お互い最新の各ソフトウェア/アプリでUDPホールパンチをONに設定する	P.10、P.13 P.9
	ファイアウォールにより通信が遮断されている	ファイアウォール設定を確認する	P.16

★下記無線機の説明箇所をご覧ください。
ID-5200活用マニュアル 3章

5 困ったときは

■各ソフトウェア/アプリのエラーメッセージ一覧

RS-MS3W、RS-MS3A、またはRS-MS3Iの〈開始〉をクリック(タップ)したときにエラーメッセージが表示された場合の対処方法について説明しています。

表示されるメッセージ	原因	処置	参照
管理サーバーが見つかりません。	管理サーバーアドレスが正しく入力されていない	管理サーバーアドレスを正しく入力する ※日本国内で運用するときは、「trust.d-star.info」を入力してください。	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
	インターネットに接続していない	パソコン、またはAndroid端末/iOS端末をインターネットに接続して、Webブラウザで任意のページが閲覧できることを確認する	—
ゲートウェイコールサインに誤りがあります。	ゲートウェイコールサインが正しく入力されていない	ゲートウェイコールサインを正しく入力する ※半角英数字8文字で入力してください。 ※8文字目に識別符号(G、I、Sを除くA～Z)を入力してください。	RS-MS3W RS-MS3A RS-MS3I 操作説明書
RS-MS3W/RS-MS3Aをご使用の場合 USBが接続されていません。(1**) (*は、エラー番号です)	RS-MS3Wをご使用の場合 無線機が正しく接続されていない	無線機とパソコンが正しく接続されているか、確認する	P.16
	RS-MS3Aをご使用の場合 無線機が正しく接続されていない	無線機とAndroid端末が正しく接続されているか、確認する	P.17
RS-MS3W/RS-MS3Aをご使用の場合 USBが接続されていません。(2**) (*は、エラー番号です)	無線機の電源が入っていない	無線機の電源を入れる	—
	無線機が通常モードになっている	無線機をターミナルモード、またはアクセスポイントモードにする	P.20、 P.22
	RS-MS3Aをご使用の場合 無線機のゲートウェイ選択が「内蔵ゲートウェイ(Wi-Fi)」、または「外部ゲートウェイ(Bluetooth)」接続に設定されている	無線機の下記設定を「外部ゲートウェイ(USB(B))」に変更する (MENU > DV GW > ゲートウェイ選択)	P.2

5 困ったときは

■各ソフトウェア/アプリのエラーメッセージ一覧

表示されるメッセージ	原因	処置	参照
RS-MS3A/RS-MS3Iをご使用の場合 Bluetoothが切断されました。	無線機の電源が入っていない	無線機の電源を入れる	—
	無線機と端末の距離がはなれている	無線機と端末を近づける	—
	周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする	—
	RS-MS3Iをご使用の場合 接続中にアプリの〈停止〉  をタップした	再度〈開始〉  をタップする	—
RS-MS3A/RS-MS3Iをご使用の場合 Bluetooth接続に失敗しました。	RS-MS3Aをご使用の場合 RS-MS3A > 接続方法 > Bluetoothに表示されているBluetoothの名称(BDアドレス)が無線機側と異なる	再度Bluetoothの箇所をタップして更新し、一致しているか確認する ※無線機側のBDアドレス記載箇所(MENU > SET > Bluetooth設定 > 自機器情報)	—
	RS-MS3Iをご使用の場合 RS-MS3I > 接続先デバイスに表示されているBluetoothの名称が無線機側と異なる	再度スキャンをタップして更新し、一致しているか確認する ※無線機側の機器名称記載箇所(MENU > SET > Bluetooth設定 > 自機器情報)	—
	無線機のゲートウェイ選択が「内蔵ゲートウェイ(Wi-Fi)」、または「外部ゲートウェイ(USB(B))」接続に設定されている	無線機の下記設定を「外部ゲートウェイ(Bluetooth)」に変更する (MENU > DV GW > ゲートウェイ選択)	P.2
ネットワーク接続に失敗しました。	データ送受信のソケットが作成できない	他のアプリケーションとポート番号(40000、40002)が競合していないか確認する ※ポート番号が競合している場合、そのアプリケーションを停止してください。	—
		各ソフトウェア/アプリを再起動する ※それでもエラーメッセージが表示される場合は、パソコン、またはAndroid端末/iOS端末を再起動してください。	—

5 困ったときは

■各ソフトウェア/アプリのエラーメッセージ一覧

表示されるメッセージ	原因	処置	参照
RS-MS3W/RS-MS3Aをご使用の場合 ネットワークエラーが発生しました。 RS-MS3Iをご使用の場合 エラーが発生しました。	ネットワークからのデータ受信時に、システムエラーが発生した	各ソフトウェア/アプリを再起動する ※それでもエラーメッセージが表示される場合は、パソコン、またはAndroid端末/iOS端末を再起動してください。	—
RS-MS3W/RS-MS3Aをご使用の場合 サービスの開始に失敗しました。	管理サーバーアドレス、またはゲートウェイコールサインが正しく入力されていない	管理サーバーアドレス、またはゲートウェイコールサインを正しく入力する	RS-MS3W 操作説明書、 RS-MS3A 操作説明書
	サービス開始時にシステムエラーが発生した	各ソフトウェア/アプリを再起動する ※それでもエラーメッセージが表示される場合は、パソコン、またはAndroid端末を再起動してください。	—

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
D-STARは、一般社団法人 日本アマチュア無線連盟の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
Google Play、Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。
App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
iPadOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。
Bluetoothワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。アイコム株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

DVゲートウェイ機能の対応無線機について

下表は、DVゲートウェイ機能の説明先と使用可能なソフトウェア(アプリ)について無線機ごとに表しています。(2026年4月現在)

	ID-52PLUS	ID-52	ID-50	ID-51 PLUS2 ID-31 PLUS	ID-4100/D	ID-5200/D	IC-705	IC-905	IC-9700/S
記載している説明書	DVゲートウェイ機能について(ハンディ用)				ID-4100/D DVゲートウェイ機能の 使いかた	DVゲートウェイ機能 について(モバイル用)	活用マニュアル 3章 DVゲートウェイ機能	活用マニュアル 3章 DVゲートウェイ機能	活用マニュアル 3章 DVゲートウェイ機能
内蔵ゲートウェイ									
無線LAN接続	—	—	—	—	—	○	○	—	—
有線LAN接続	—	—	—	—	—	—	—	○	○
ゲートウェイ(外部)									
無線機側の コネクター情報	Type-C	Micro-B	Type-C	[DATA]ジャック	[DATA]ジャック	Type-C	Micro-B	Type-C	[DATA]ジャック
(1) RS-MS3W(パソコンを使用する場合)									
USB接続に使用 するケーブル	市販品	市販品 (Micro-B to Type-A) OPC-2418 (Micro-B to Type-C)	市販品	OPC-2350LU*1	OPC-2350LU*1	市販品	市販品 (Micro-B to Type-A) OPC-2418 (Micro-B to Type-C)	市販品	OPC-2350LU*1
(2) RS-MS3A(Android端末を使用する場合)									
USB接続	○*4	○*4	○*4	○	○	○	○*4	○*4	○
USB接続に使用 するケーブル	市販品*2	OPC-2417 (Micro-B to Micro-B) OPC-2418 (Micro-B to Type-C)	市販品*2	OPC-2350LU*1	OPC-2350LU*1	市販品*2	OPC-2417 (Micro-B to Micro-B) OPC-2418 (Micro-B to Type-C)	市販品*2	OPC-2350LU*1
Bluetooth接続	○*5	—	—	—	—	○*5	—	—	—
(3) RS-MS3I(iOS端末を使用する場合)									
Bluetooth接続	○*3	—	—	—	—	○	—	—	—

★¹ お使いの端末に搭載されているUSBポートがUSB Type-Cの場合、OPC-2350LUを使用するには、付属のパソコン用ケーブルと接続するため、USBホスト(OTG)機能対応の変換ケーブル(市販品)が必要です。
OPC-2350LU + 付属のパソコン用ケーブル(Mini-B to Type-A)
+ 市販品での変換(Type-A to Type-C)

(ご参考)  Type-A  Micro-B  Type-C

★² OPC-2418は使用できません。
★³ 無線機は、右記のバージョン以降に限りです。Main CPU(CPU M) 1.10
★⁴ RS-MS3Aバージョン1.31以降に限りです。
★⁵ RS-MS3Aバージョン1.40以降に限りです。